

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム **アイリーフ当新田**

日付 平成16年8月5日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員
看護師・大学福祉系講師

自主評価結果を見る (まだリンク先はありません)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)

広々とした玄関から入り、それに続くリビングルームへ向かうとホテルを思わせるほどの広々とした空間がある。採光は若干暗く、内装も落ち着いた感じがする。

職員は明るく、よく気遣いもできている。また、ある程度の距離を保ちながらの見守り、介助が入居者に行われており入居者の自立が目指されている。

2階のベランダには、喫煙の習慣のある入居者がタバコをすうことのできるように喫煙所が配されている。安全への配慮と、喫煙習慣のない他の入居者にも心配りがなされている。

改善の余地があると思われる点
空間が広くとられていることは良いが、見守りのしにくい構造も見られた。職員の配慮と見守りの工夫によりカバーしていただきたい。

1階と2階の各ユニットの連携をいませし密にされて、職員間の情報の共有化をさらに進めていただきたい。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 家庭のあたたかい雰囲気を再現しながら、入居者が自立できるように支援する。このことを通じて、入居者がまるで自宅で生活しているように思えるようめざしている。 また、ホームの運営を通じて地域に根付き、地域から信頼される福祉施設となることを目指されている。			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か 1Fの居間には畳のスペースを設けている。また、2Fは喫煙所を設けている。			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 職員は入居者のプライバシーには気を遣われている。入居者が居室に帰ったときは必要な見守りを行っている。 できるだけ、自分の力でできるように声かけ、見守りを実施している。			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 4月から管理者が変わり、職員の意見が今まで以上に反映される体制になってきた。話し合いも行われており、問題点があれば改善に向けて努力されている。			